

Table with columns for project name, code, budget, description, class, and financial details. Includes 'コミュニティバス等運行事業' and 'バス運行助成金'.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table for project overview including '① 事業期間' and '② 事業の内容'. Contains details about the bus operation project and its objectives.

(2) トータルコスト

Table for total costs, split into '① 事業費の内訳(25年度の実績)' and '② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績)'. Lists various expenses and staff hours.

Table showing cost trends from 23rd to 26th fiscal years. Columns include '23年度(決算)', '24年度(決算)', '25年度(決算)', and '26年度(計画)'. Rows list '事業費' and '人件費'.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping '手段' (Means), '目的' (Objectives), and '上位目的' (Higher Objectives) to specific '指標' (Indicators). Includes metrics like '活動指標名', '対象指標名', and '成果指標名'.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table for environmental changes and resident opinions. Columns include '① 開始したきっかけは何か?', '② 事務事業を取り巻く状況', and '③ この事務事業に対して関係者からの意見や要望'.

事務事業名	コミュニティバス等運行事業 バス運行助成金	課名	企画政策課	班名	企画調整班
-------	--------------------------	----	-------	----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒[理由] ↷ この事務事業の目的は市の施策体系に結びつかないか？意図することが上位目的に結びついているか？ 市民の便利な足として、交通弱者を中心にだれでもがバスを利用できるため、公共交通としての機能を果たしている。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒[理由] ↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 主な対象は、交通弱者であるが、だれでも利用できるため、適切である。意図についても、バスを利用することで生活の活動域が広がることとなるので適切である。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由] ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 今後、さらなる高齢化に伴い、交通弱者や交通空白地域の住人の移動手段として公共交通は欠かせないものであり、その輸送サービスを確保するため、行政が行うことは妥当である。(採算が取れないため、民間での実施は困難)
	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由] ↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 「旭中央病院」及び「滝郷診療所前」、「旭駅」、「旭駅東」、「干潟駅」、「飯岡駅」で降車した人数は減少しているものの、一定人数の利用はなされており、交通不便者等、移動の代替手段がない人の通院、通学・通勤、買い物、公共施設の利用の役に立っているため妥当である。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫しても、今以上成果は向上しない ⇒[理由] ↷ 利便性のPRにより利用者を増やすことができる(便数や系統数を増加させることも考えられるが、財源も限られているため、活動量を増やすことは難しい)
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒[理由] ↷ すでに民間事業者が採算性が合わない判断して規模縮減・撤退した事業のため、類似事業はない。
	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由] ↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 利便性のPRにより利用者を増やすことで、運賃収入を増やし、収支率を上げることで、事業費を削減する余地はある。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地 (表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由] ↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 事故、運休等の緊急時の対応や国庫補助金申請時の資料作成において、千葉交通と作業分担をするなど、既に事務の効率化を図っているため、今以上の業務時間の削減は難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒[理由] ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 主な対象は交通弱者だが、だれでも利用できる公共性が高いバスのため、公平・公正である。

3 評価 (Check2) 担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	交通空白地域の格差是正を目指すべく新たなルート変更を行う場合、現状のバス台数では対応できない状況であり、台数の増加、運転手の増員が必須となる。そうすると大幅な支出の増加が避けられないため、全ての要望に答えることができない。当面は長期的に持続可能な公共交通となるよう、バス停の増設による利便性の確保、運賃改定による収支率の改善、利用者の増加を図るための利便性のPRなどについて検討する。
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
いつまでに	いつまでに																						
平成26年度中	①「旭市公共交通会議」において、バス停の増設について議論する。 ②運賃の改定について協議する。 ③広報などによる利便性のPR																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
①目的地として駅と病院がほとんどである。また、運行時間及び距離が飽和状態であり、住民の要望に添えないのが実態である。解決策は難しい。 ②交通弱者数等実態の把握 ③特になし																							